

こうちこどもファンド事業成果報告書(子ども用)

※この報告書は子どもたちが自分の言葉で書いてください。

令和 7 年 3 月 1 日

1 団体の名前

ふりがな	ちーむ ペっとりお
団体の名前	Team Petrio

2 活動のテーマ

人間と動物の真ん中に

3 活動の内容

① 活動の時期	② 活動の内容
8月25日	<p>▶ほおちょけんイベント参加 「高知市地域共生社会推進課」主催のイベントで「あにまるクエスト」という自作のゲームを実施した。対象は小学生で、初めは遊び程度での実施だったが、楽しそうにプレイしていたことはもちろん、しっかりと内容が理解を理解してくれていたことから、小学生の学習は「ゲーム」という手法もあるんだな、と実感した。一方で、難しい言葉を使いすぎていたことや説明が長いと子供の興味を惹きつけられないことが今後の課題として挙げられた。このイベントでの反省点を活かしてゲームを改善し、出前講座に向けてより良い企画になるよう励んだ。</p>
11月3日	<p>▶鏡川緑地公園イベントへの参加 「あにまるクエスト」という、メンバーが作成したゲームを体験してもらった。他にはポスター配布や冊子の配布も行った。イベントに訪れた方はもちろんイベントに参加していた小学生や地元の方にもプレイしてもらうことができた。そして野良の犬猫を見つけたときの正しい対処について知識を広めることができた。特に小学生以下の方には保護者の方と一緒に体験してもらえたので、大人にも広報することができ、知識を広める良い機会となったと思う。</p>
8月～1月	<p>▶高知市内の学校へ電話・メールでの出前講座依頼 おもに、初月小学校、一宮小学校、山田小学校へ連絡を取った。連絡自体はマメにしていたが、どうしても都合が合わないということで話がすまず、最終山田小学校だけの実施となってしまった。</p>
2月27日	<p>▶山田小学校へ出前講座 山田小学校は香美市にある学校だが、その小学校出身のメンバーがいたり、先生とのご縁があったりなどの理由から、実施する運びとなった。 出前講座の内容は、私たちが今まで3年間学んで得た知識や子供だからこそ知ってもらいたいことについて。対象が小学生であるため、聞くだけでなく小学生の意見を引き出せるような、参加型の講座になるように計画を進めた。 小学校へ出向いての講座は初めてで、生徒の反応の有無や、解説の分かりやすさなど、心配していた部分もあったが、いざ始まると、積極的に活動に参加してくれて、とても有意義な講座にすることができた。私たち自身も、小学生の柔軟な意見にとっても関心し、楽しかったです！ 講座の最後には、「ほおつちけんイベント」でも実施したゲーム「あにまるクエスト」を行い、楽しみながら学習する機会を作れたと思う。生徒からはとても好評で、講座終了後に遊びたい！と何人か来てくれた。また、先生からも生徒が本当に楽しそうに学んでいたとの声をいただいた。</p>

4 まちづくりの効果

活動後の感想と、自分たちが活動して、まちがどんなふうになくなったと思うか書いてください。

<感想>

わたしたちは今年で活動3年目になるが、やはり地域の人と関わること、また動物のことを考えて発信していくことが好きだ。こうちこどもファンドの活動の根底には、地域の人と関わる必要があるため、どんなジャンルの活動であっても外に発信することが大事になる。そのときに地域に貢献したい思いや、地域の人と話すことが好きだという思いが活動の原動力になり、私達はこの思いが強いからこそ、3年も活動を継続できたのだと思う。また、今回の活動では、小さい子との関わりを通して、動物の教育は、やはり小さい頃からしていくことが、「人と動物の共生」の達成に必要なと感じた。動物の飼い方やお世話について十分に知らない人がいたり、野良猫に困っている人がいたり、など様々な課題はあるが、小さい頃から正しい知識を得ていれば、将来は知識を既に持っている人が増え、より良い社会を自然に作っていけると思う。

<まちが良くなったと思うこと>

この活動を通じて、まちが良くなったと思う点は動物と人間の共生に対する意識が大きく高まったこと。特に、子どもたちの楽しみながら学ぶという環境を作れたり、地域全体で動物愛護に対する関心が深まったりした。そうして、イベントを通じて地域の人々が一緒に集まり、互いに学び合い、協力する姿勢が生まれた。このような活動は地域のコミュニティ形成や住民同士の絆を深めることに繋がると思う。私たちの活動によって、動物に対する思いやりや責任感が地域全体に広がり、より良い社会の構築に携われたのではないかな。

5 気づきポイント

活動を通して気づいたことや工夫したこと、反省点などがあれば書いてください。

<活動前にたてた目標や計画通りにできなかったところ>

計画していた3校に出前講座にいけなかったこと。

<なんでできなかったのか、何につまづいたのか>

まず、連絡を8月から始めたのが遅かった。活動自体は6月からだが、電話の連絡が先延ばしになってしまっていた。

次に、学校側が忙しかったことが挙げられる。電話で連絡をしたあとに、詳細をメールで送るものの、返信が帰ってこない学校が多く、再度連絡をすると、忙しいため検討中といわれてしまった。そのあと、電話をかけたり、メールをしたりと、決定して促す事もできたが、その部分がなかったため、もしかすると、忘れられてしまったかもしれない。私たちなりに連絡はしていたつもりだが、小学校とのすれ違いで講座の実施までの運びにいたらなかった。

<つまづいたとき、活動を進めていくためにどんな工夫をしたか、または、どうすればよかったと思うか>

もっと、メンバーに相談して解決策を考える。ラインだけの連絡になってしまいがちだったため、直接話しておこなう定期ミーティングなどの時間を取ればよかったと思う、そうすれば、活動に割ける時間が取れるので、直接話して、もっと効果的な案を出せていたかもしれない。

6 今後の展望など

今後自分たちの活動をどのように続けていきたいかなど、自由に書いてください。

今回で、わたしたちの活動は3年目を迎え、Team Petrioとして活動できるのは最後になる。しかし、今後出前講座を自分たちで続けていくことはできるので、今年度依頼をしていた学校にもう一度依頼をしたいと思っている。

7 活動の様子がわかる絵や写真があれば紹介してください

Team Petrio 活動写真 🐕🐶

ほおちよけんイベント



活動場所



活動風景



作成した
ポスター

鏡川緑地公園イベント



山田小学校への出前講座



ちゃんとお話
聞いてくれました



ゲームプレイ中

放課後にも
遊びに来て
くれました



団体名 Team Petrio

令和 6 年度決算報告書

収入	収入の内容	予算額	決算額	内訳(単価・人数など)
	ファンド助成金	140,000 円	59,316 円	
			円	
			円	
	合 計	140,000 円	59,316 円	

支出	支出の内訳	予算額	決算額	内訳(品名・単価・個数など)
	名刺作成(11名分)	26,000 円	29,700 円	@2700×11名
	名刺用ホルダー	440 円	880 円	@220×4コ
	出前講座での配布冊子	45,000 円	26,140 円	冊子90部 ポスター500部
	出前講座の交通費	30,000 円	0 円	
	出前講座用 雑費	10,000 円	0 円	
	鏡川緑地公園イベント 景品	3,000 円	2,596 円	配布用お菓子
	鏡川緑地公園イベント 準備費	25,560 円	0 円	
		円	円	
		円	円	
		円	円	
	合 計	140,000 円	59,316 円	